

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月22日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,115	△5.8	△131	—	△129	—	△112	—
25年3月期第2四半期	1,183	△38.1	△220	—	△216	—	△263	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△8.18	—
25年3月期第2四半期	△19.09	—

(注)1 当社は、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失を算定しております。

2 平成25年3月期第2四半期及び平成26年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,301	—	1,960	—	—	85.1
25年3月期	2,459	—	2,070	—	—	84.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,957百万円 25年3月期 2,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

業績を考慮した剰余金の配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成26年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定した時点で速やかに開示いたします。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	1,715	△10.3	△201	—	△201	—	△208	—	△15.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,927,400 株	25年3月期	13,927,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	127,200 株	25年3月期	127,200 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	13,800,200 株	25年3月期2Q	13,800,200 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成25年3月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な容認により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年10月23日(水)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期貸借対照表関係)	10
(四半期損益計算書関係)	11
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成26年3月期第2四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、円安に伴う輸出環境の改善と政府・日銀によるアベノミクス効果の顕在化で、企業収益の増加傾向が続き、GDPの着実な増加もあって景気回復の動きが確かなものとなりつつあります。

当社の事業領域であるパソコン向けオンラインゲーム業界の成長率は鈍化しているものの、スマートフォン・タブレット等を含めたゲーム市場は拡大基調が続いております。また、スマートフォンの普及率が前年比で10%近い増加の動きを見せるなど、携帯電話(フィーチャーフォン)からスマートフォンへの移行が進んでおります。

ソフトウェア販売を取り巻く環境は、国内のパソコン出荷台数が、2012年11月以降8カ月連続で前年を割り込むなど低調に推移しております。一方、タブレットの販売台数は急激に伸びており、タブレットの販売台数がノートパソコンの半分程度の規模まで成長しております。

このような環境のもと、当社の営業収益に大きな割合を占めるオンラインゲーム事業が、当初の見込みより下回ったこと等により、当第2四半期累計期間の営業収益は11億15百万円と前年同期比5.8%の減収となりました。一方、利益の状況につきましては、人件費、減価償却費のほか地代家賃等の固定費の削減効果で改善の方向にありますが、営業損失1億31百万円(前年同期は2億20百万円の営業損失)、経常損失1億29百万円(前年同期は2億16百万円の経常損失)、四半期純損失1億12百万円(前年同期は2億63百万円の四半期純損失)となりました。

当第2四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	平成26年3月期第2四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	835,330	△7.6	74.9
ソフトウェア販売事業	222,307	3.3	19.9
サイト広告販売事業	57,677	△9.4	5.2
その他	—	△100.0	0.0
合計	1,115,315	△5.8	100.0

オンラインゲーム事業

当第2四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、8億35百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

当該事業は、従来型オンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)、ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)、スマートフォンゲームの3つの分野から構成されています。

主力である従来型オンラインゲームは、当第2四半期累計期間末時点で8タイトルの運営となっております。増減の内訳といたしましては、平成25年4月に「ぎごしょくマスター」、7月に「BOUNDRA」の正式サービスを開始した一方で、6月に「Knights of Kingdom」、9月に「Wonderland ONLINE」「ソードオブリベリオン」のサービスを終了いたしました。ブラウザゲームは、平成25年4月に「戦国セブン」、9月に「Web三国ヒーローズ」のサービスを終了したことにより、当第2四半期累計期間末時点で6タイトルの運営となっております。

また、平成25年6月よりスマートフォンゲームのiOSゲームアプリ(iPhone、iPadで遊べるゲーム)である「アルカナ・マジア」の配信を開始いたしました。

ソフトウェア販売事業

当第2四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、2億22百万円（前年同期比3.3%増）となりました。ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては根強い需要がありますが、個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の状況が減少傾向にあることに変わりはありません。

サイト広告販売事業

当第2四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、57百万円（前年同期比9.4%減）となりました。リスティング広告（検索エンジンの検索結果ページに表示する広告）については当該事業の約8割強を占め、サイト広告販売事業の基幹となっております。

その他

当第2四半期累計期間における当該販売金額はありませんでした（前年同期は0.7百万円）。

(2) 財政状態に関する説明

○財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末（平成25年9月30日）における資産合計は、23億1百万円となり、前事業年度末に比べ1億57百万円減少しました。

(資産)

流動資産については19億80百万円と前事業年度末に比べ1億6百万円減少しました。うち、現金及び預金が前事業年度末に比べ1億36百万円増加しましたが、有価証券が前事業年度末に比べ1億99百万円減少しました。また、ソフトウェアを含む固定資産については3億20百万円と前事業年度末に比べ51百万円減少しました。

(負債)

負債については流動負債が3億13百万円と前事業年度末に比べ50百万円減少したことなどで、負債合計は3億40百万円と前事業年度末に比べ47百万円減少しました。

(純資産)

純資産については19億60百万円と前事業年度末に比べ1億10百万円減少しました。うち、株主資本は19億51百万円と前事業年度末に比べ1億12百万円減少しました。

なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の15.8%から14.8%に低下し、自己資本比率は、前事業年度末の84.1%から85.1%に上昇しました。

○キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期末残高が14億10百万円と期首残高の12億73百万円に比べ1億36百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期累計期間は税引前四半期純損失1億10百万円の計上、減価償却費1億27百万円の計上などで小計段階で26百万円の支出となり、利息及び配当金の受取りと法人税等の支出を差し引きした結果、25百万円の支出(前年同期は66百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出2億円、無形固定資産（ソフトウェア）取得による支出99百万円がありましたが、有価証券の売却による収入4億円などで、差引き1億65百万円の収入(前年同期は5億10百万円の支出)となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支（フリーキャッシュ・フロー）は、1億39百万円の黒字（収入超過）となり、キャッシュ残高の増加要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により0.02百万円の支出(前年同期は0.01百万円の支出)となり、その分キャッシュ残高の減少要因となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

平成26年3月期第3四半期累計期間の業績は、営業収益17億15百万円（前年同四半期は19億12百万円）、営業損失2億1百万円（前年同四半期は2億42百万円の営業損失）、経常損失2億1百万円（前年同四半期は2億38百万円の経常損失）、四半期純損失2億8百万円（前年同四半期は4億34百万円の四半期純損失）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243,527	1,380,058
売掛金	292,966	294,551
有価証券	430,339	230,347
その他	120,084	75,445
流動資産合計	2,086,916	1,980,403
固定資産		
有形固定資産	48,056	36,032
無形固定資産		
ソフトウェア	232,686	192,079
その他	13,949	31,853
無形固定資産合計	246,636	223,932
投資その他の資産	77,649	60,996
固定資産合計	372,342	320,961
資産合計	2,459,258	2,301,364
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,636	114,424
未払法人税等	3,417	3,854
賞与引当金	28,526	30,565
その他	201,704	164,666
流動負債合計	364,284	313,509
固定負債		
退職給付引当金	22,006	24,261
その他	2,192	3,041
固定負債合計	24,198	27,302
負債合計	388,483	340,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	△242,175	△355,018
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,064,364	1,951,520
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,959	6,427
評価・換算差額等合計	3,959	6,427
新株予約権	2,451	2,603
純資産合計	2,070,775	1,960,552
負債純資産合計	2,459,258	2,301,364

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	1,183,414	1,115,315
営業費用	※ 1,404,132	※ 1,247,262
営業損失(△)	△220,718	△131,946
営業外収益		
受取利息	1,783	2,628
受取配当金	66	76
為替差益	1,321	—
消費税等差額	—	1,152
その他	982	810
営業外収益合計	4,153	4,669
営業外費用		
為替差損	—	2,711
営業外費用合計	—	2,711
経常損失(△)	△216,564	△129,988
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23,280
特別利益合計	—	23,280
特別損失		
固定資産除却損	7,766	710
減損損失	6,218	3,413
解約違約金	3,955	—
その他	216	—
特別損失合計	18,156	4,124
税引前四半期純損失(△)	△234,721	△110,832
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	27,563	865
法人税等合計	28,708	2,010
四半期純損失(△)	△263,429	△112,843

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△234,721	△110,832
減価償却費	177,030	127,968
減損損失	6,218	3,413
のれん償却額	1,562	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,445	2,255
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,780	2,039
受取利息及び受取配当金	△1,849	△2,705
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△23,280
為替差損益(△は益)	—	3,142
固定資産除却損	7,766	710
情報セキュリティ対策引当金の増減額(△は減少)	△32,874	—
売上債権の増減額(△は増加)	108,370	6,270
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,605	△34,340
預り金の増減額(△は減少)	△74,229	△20,858
未払又は未収消費税等の増減額	△29,200	33,264
その他	6,705	△13,136
小計	△88,160	△26,089
利息及び配当金の受取額	1,882	2,742
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	20,042	△1,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,234	△25,323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△600,000	△200,000
有価証券の売却による収入	400,000	400,000
投資有価証券の売却による収入	—	42,693
無形固定資産の取得による支出	△110,640	△99,939
長期前払費用の取得による支出	—	△334
定期預金の預入による支出	△200,000	—
敷金の回収による収入	—	22,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,640	165,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△16	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△22
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3,142
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△576,891	136,539
現金及び現金同等物の期首残高	1,634,422	1,273,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,057,530	※ 1,410,406

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 営業費用のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
ソフトウェア販売原価	151,263	千円	156,131	千円
オンラインゲームロイヤリティ	232,733	〃	223,864	〃
コンテンツ費用	2,427	〃	2,032	〃
支払手数料	104,725	〃	138,832	〃
広告宣伝費	201,337	〃	169,555	〃
役員報酬	22,339	〃	18,570	〃
給与手当・賞与	262,405	〃	220,216	〃
株式報酬費用	314	〃	152	〃
賞与引当金繰入	25,363	〃	28,234	〃
退職給付費用	2,549	〃	2,349	〃
福利厚生費	44,964	〃	38,880	〃
業務委託費	10,009	〃	2,431	〃
通信費	73,875	〃	52,453	〃
租税公課	4,550	〃	4,378	〃
減価償却費	177,030	〃	127,968	〃
長期前払費用償却費	821	〃	40	〃
のれん償却額	1,562	〃	—	〃
保守修理費	466	〃	4,227	〃
旅費交通費	2,485	〃	4,140	〃
地代家賃	45,359	〃	30,575	〃
賃借料	87	〃	852	〃
水道光熱費	5,690	〃	4,613	〃
消耗品費	1,027	〃	704	〃

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
現金及び預金	1,027,201	千円	1,380,058	千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△200,000	〃	—	〃
金銭信託(有価証券勘定)	200,000	〃	—	〃
中期国債ファンド(有価証券勘定)	30,329	〃	30,347	〃
現金及び現金同等物	1,057,530	千円	1,410,406	千円

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	903,720	215,294	63,629	1,182,644	770	1,183,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	903,720	215,294	63,629	1,182,644	770	1,183,414
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△176,501	△32,073	37,192	△171,382	36	△171,345

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社サーバ管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△171,382
「その他」の区分の損失(△)	36
全社費用(注)	△49,372
四半期損益計算書の営業損失(△)	△220,718

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて当社が保有する著作権並びに一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、6,218千円であります。

II 当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	835,330	222,307	57,677	1,115,315	—	1,115,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	835,330	222,307	57,677	1,115,315	—	1,115,315
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△111,133	△19,581	36,461	△94,253	—	△94,253

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△94,253
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△37,692
四半期損益計算書の営業損失(△)	△131,946

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、3,413千円であります。